

2002-2003 年度国内 PC (IA) サーバ出荷状況調査報告

ノークリサーチ (本社〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5 : 代表伊嶋謙二 03-5629-2163、URL : <http://www.norkresearch.co.jp>) では 2002 年度の国内 PC (IA) サーバの出荷状況を調査した。2003 年度の予測も併せて調査、報告している。

<2002 年度 PC (IA) サーバ市場のポイント>

2002 年度 PC (IA) サーバ市場は初めて前年割れ

- 台数では対前年比 6.1%ダウンで、310,100 台の市場へ

- 金額市場はマイナス 17.0%の大幅減。加速するサーバの低価格化

メーカーシェアは NEC 26.3%で 1 位、2 位にデル 17.7%が躍進、3 位以下は混戦

インターネット関連とエントリサーバ需要の IT インフラの投資意欲が依然として高い

E ジャパン構想で自治体・教育市場は堅調も、住民基本台帳にかわる規模の大きな特需が無く苦戦

ラック (薄型) サーバ急増で、全体の 35%を占める。ブレードは 04 年度以降に本格化

2003 年度は再び増勢での 7.7%増の 333,900 台と見込まれる

IT 投資減税、Windows2003 の出荷、Y2K 時に導入サーバのリプレースなどが本年度市場の追風となるか

対象期間 : (2002 年度実績) 2002 年 4 月から 2003 年 3 月

(2003 年度予測) 2003 年 4 月から 2004 年 3 月

対象メーカー : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 自主統計参加及び未参加メーカー
日本電気、日本 IBM、富士通、日立製作所、デルコンピュータ、
日本 HP、東芝、三菱電機など

対象機種 : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 定義に準ずる

調査方法 : 当該メーカーに対する直接取材及び弊社データベースによる分析

調査期間 : 2003 年 5 月 ~ 6 月

[2002 年度出荷状況]

- 対前年比 6.1%ダウンで、310,100 台市場へ -

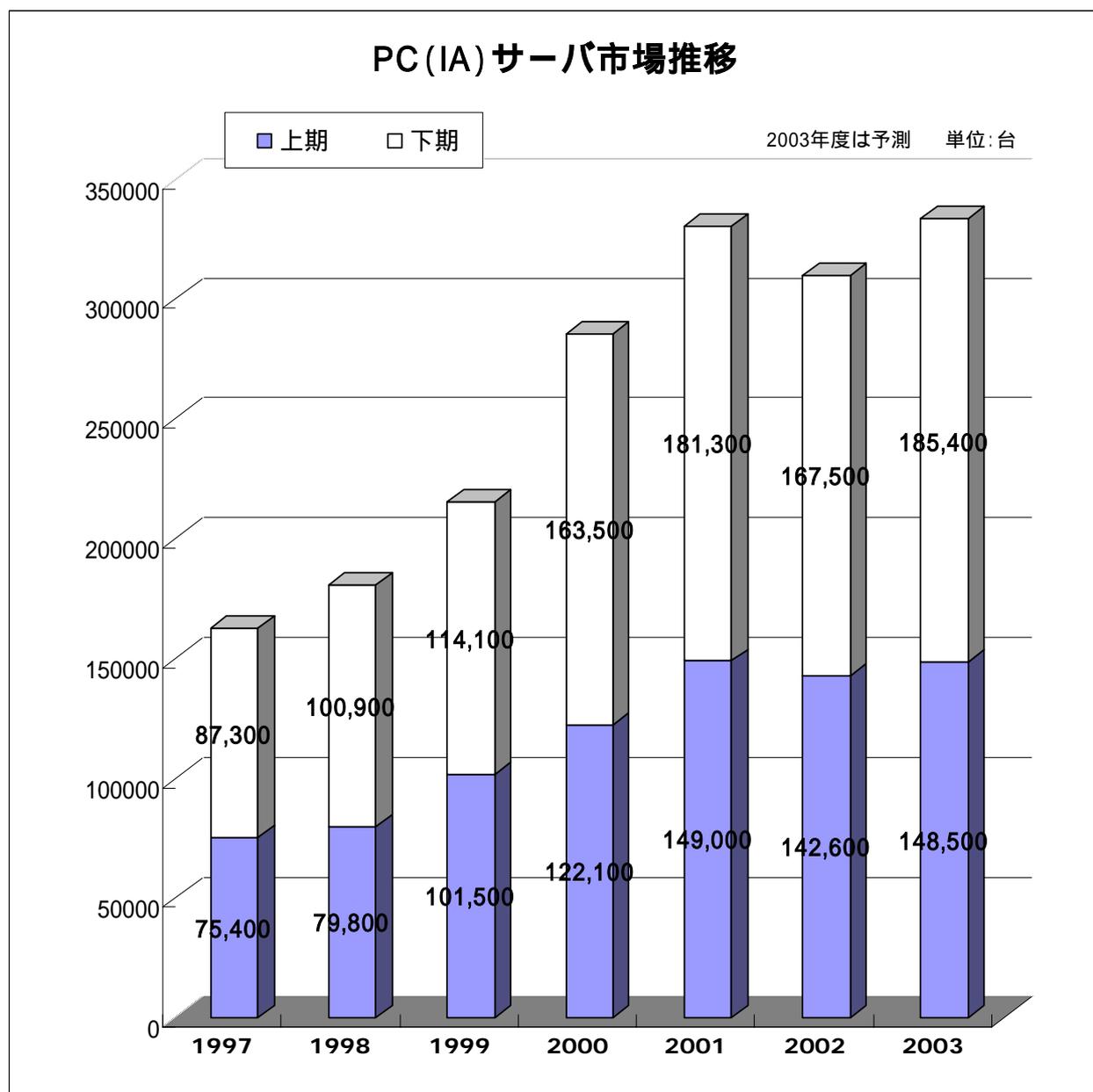
2002 年度トータルでは経済環境全般の冷え込みの影響が強く、初めて前年割れの 310,100 台、対前年比マイナス 6.1%ダウンと低迷した。上期は台数で 142,600 台、前年対比マイナス 4.3%で、下期は 167,500 台と前年対比マイナス 7.6%であった。

上期は中堅・中小企業への情報系投資、インターネット需要を中心とするサーバ需要は拡大したが、昨年と比較すると基幹系システム全般と xSP などへの大型設備投資が停滞したことが市場低迷の要因となっている。

下期に入っても状況は変わらず、民需の冷え込みは業種を問わず蔓延しており、一般的に需要の動きは鈍かった。特に需要の中心であった製造業などの不調の影響は大きい。また 2001 年度にみられた住民基本台帳などの自治体特需の恩恵が本年度は少ないなどの反動要素もあった。そのため補正予算狙いの公需、学校などが一部下支えになったが、全体をカバーするには至らなかった。ただし 2003 年に入ってから大手企業中心にリプレース、増設需要が増加傾向にある。

PC (IA)サーバ総出荷台数推移/予測 (97年度から2003年度)

	上期	前年比	下期	前年比	合計	前年比
1997年度	75,400	151.4%	87,300	124.0%	162,700	135.4%
1998年度	79,800	105.8%	100,900	115.6%	180,700	111.1%
1999年度	101,500	127.2%	114,100	113.1%	215,600	119.3%
2000年度	122,100	120.3%	163,500	143.3%	285,600	132.5%
2001年度	149,000	122.0%	181,300	110.9%	330,300	115.7%
2002年度	142,600	95.7%	167,500	92.4%	310,100	93.9%
2003年度	148,500	104.1%	185,400	110.7%	333,900	107.7%

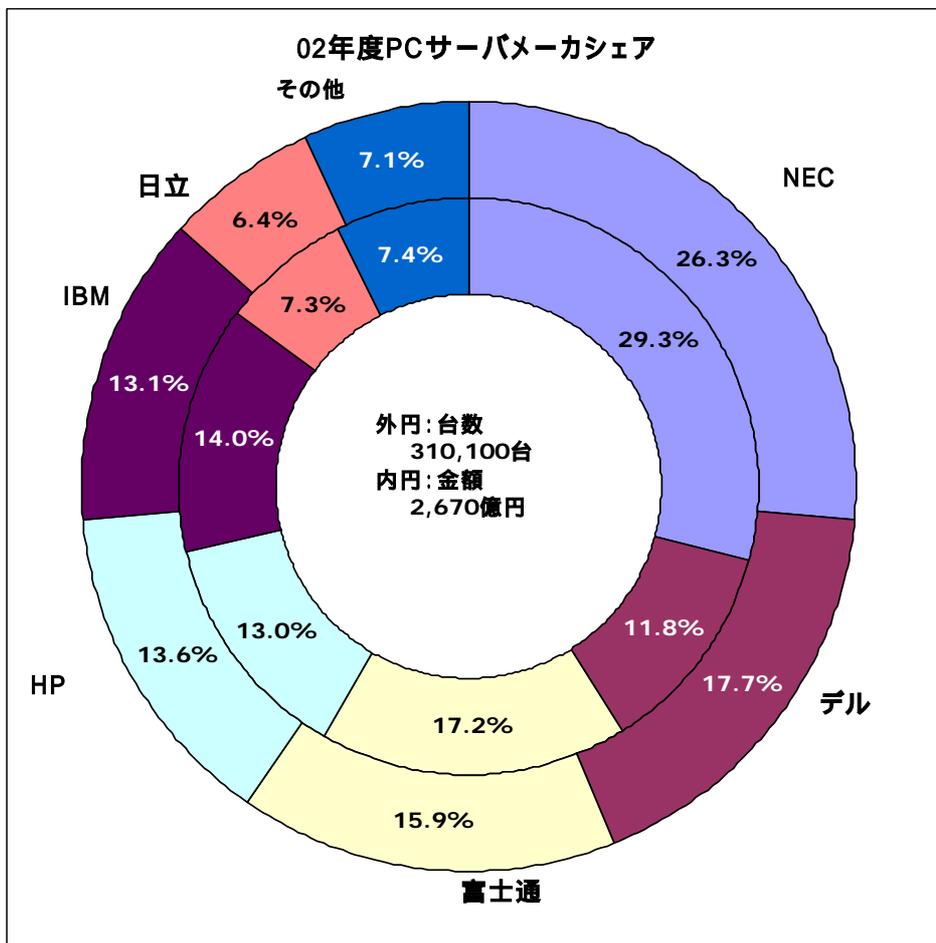


[2002 年度メーカーシェア]

- シェアマップも混沌。NEC トップだが、2 番手にデル躍進

メーカーシェアでは NEC が依然トップ。26.3%のシェアで 2 番手以下を引き離している。チャンネル販売（地域販売店）と安定した直販力と幅広い製品対応、多くの既存ユーザの実績による安定感が同社の強みだ。特に全国のチャンネルでの中堅・中小企業向けのエントリ系サーバの展開と基幹系システムの攻略という地味だが確かな展開で、着実にシェアを維持向上している。

2 番手はデルが躍進した。大掛かりな広告展開と WEB や電話による直販で企業の情報系サーバに狙いを絞った展開で好調だ。17.7%のシェアで富士通をかわして 2 位になった。富士通は自治体向けの地域の安定した受注活動が目立った。あわせてチャンネルによる地道な販売が底支えをしている。HP は合併後の組織改革や製品戦略の施行が実質下期に入ってからと出遅れが響いたが、2003 年に入ってから盛り返し、シェア 13.6%と IBM をかわして 4 位。ただし IBM との差はわずかだ



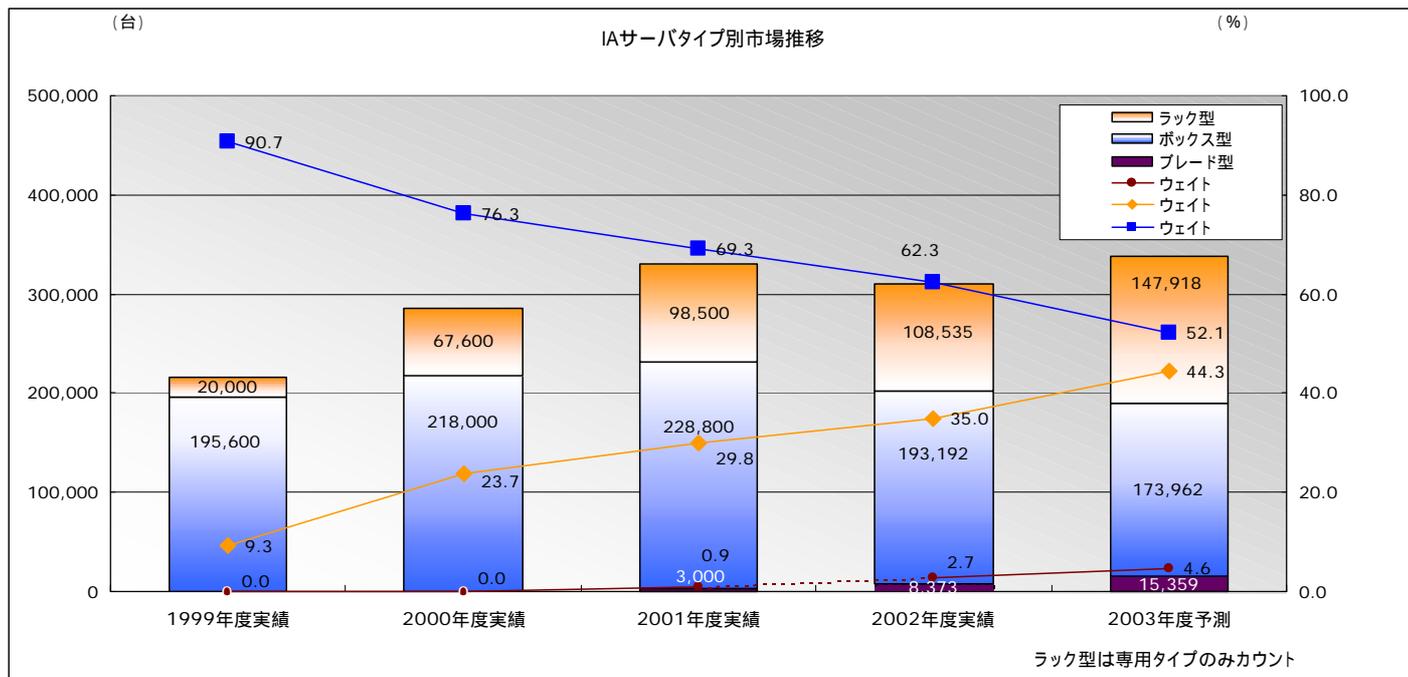
[2003 年度市場展望]

- 対前年比 7.7%の伸び、333,900 台 -

2003 年度は引き続き業種や地域によって景気の影響を受けてまだら模様の出荷状況になると思われるが、低価格サーバを中心とする中堅・中小企業向けのソリューション、特にインフラ系の導入がまだまだ活発のため引き続き安定した需要が見込まれる。また形態的にはラックマウントタイプは好調に推移しており、企業規模に関係無く安定的に需要が拡大するだろう。ラックマウントタイプは 2003 年度全体で

2002-2003年度PC(IA)サーバ国内出荷調査結果リリース
 44.3%を占めることが予測される。ブレードタイプは大学、研究所を中心としたク
 ラスターサーバ的な用途から一般企業への導入が見られ始めているが、ブレードサー
 バは評価の定まる2004年度以降に市場が本格化するものと思われる。

全体の市場見込みでは2003年に入ってから景気の底打ち感がみられ、大手企
 業を中心とするリプレース、増設需要が活発化しているのも好材料だ。またY2K時
 に導入したサーバがリプレース時期を迎えたことと、Windows2003の出荷開始、IT
 投資減税の施行等が市場の再活性化の追い風となって、2003年度は再び増勢となっ
 て、2002年度対比7.7%増の333,900台と予測される。



当調査データに関するお問い合わせ



ノーク・リサーチ
 担当：伊嶋 謙二 いしま
 e-mail: pressr@norkresearch.co.jp
 〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5
 電話 5629-2163 FAX 5629-2164
 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>